



人を想い、
地球を想う。

第98期 中間報告書

平成24年4月1日から平成24年9月30日まで



三ツ星ベルト株式会社

昨年に引き続き、営業利益率10%以上を確保。 さらにスピードを上げて、新製品の開発を進めます。

株主のみなさまには、平素格別のご高配を賜り、有難く厚くお礼申し上げます。

第98期第2四半期連結累計期間の概況をお届けするにあたりまして、株主のみなさまのご懇情に心から厚くお礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、震災復興需要やエコカー補助金に伴う個人消費の拡大を背景に緩やかに持ち直す兆しが現れましたが、夏場以降は、依然として債務危機に揺れる欧州に加え、中国などの海外経済が大きく減速したことから生産と輸出が鈍化し、景気は踊り場局面を迎えたと見られています。

このような環境のもと、当社グループはアジア圏を中心とした海外市場における販売活動を強化するとともに生産体制の再構築を推進し、経営の効率化と一層のコスト削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高276億37百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益28億9百万円（前年同期比9.1%減）、経常利益25億44百万円（前年同期比10.4%減）、四半期純利益は15億60百万円（前年同期比15.8%減）となりました。

中間配当につきましては、1株につき7円、支払開始日を平成24年12月4日と決定させていただきました。

今後の企業を取り巻く環境は、欧州に加えて中国をはじめとする新興国経済の減速感が一層強まり、世界経済の先行き不透明感が増すなか、長引く円高のもと

での外需縮小による輸出の減少、エコカー補助金終了などによる個人消費の落ち込み、さらには尖閣諸島問題などの中国リスクの高まりによって、景気下振れリスクが強まりつつあると見られます。

このような状況のもとで、当社グループといたしましては、三ツ星ベルトグループ全体で一段と経営の効率化とコスト削減に取り組むとともに、柔軟な生産体制の確立と販売体制の強化並びに強固な財務体質づくりを推進いたします。また、次世代の産業分野のニーズに対応できる「高機能、高精密、高品質な製品づくり」を目指すため、引き続き研究開発体制の強化・充実に努め、業績の確保に努めてまいります。

株主のみなさまには、今後とも一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成24年12月



代表取締役会長

西河 紀男



代表取締役社長

垣内 一

油中(ゆちゅう)タイミングベルトを開発 (耐油・耐熱性タイミングベルト)

近年の自動車や汎用機械などのエンジンには、カム駆動用に金属製チェーンが使用されています。油中タイミングベルトは、従来のゴム製ベルトに比べ耐油・耐熱性を高め、今までゴム製ベルトが使用できなかったオイルが付着するエンジンブロック内で、金属製チェーンに代わるベルトとして開発されました。油中タイミングベルトには、チェーン駆動システムに不可欠なガイドが不要となり、エンジンの軽量化・低騒音化が可能となります。また、ゴム製ベルトは金属製

チェーンに比べ伝達効率に優れ、エネルギーロスを減らし燃費向上に大きく貢献します。

	金属製チェーン	油中タイミングベルト	備考
システム重量	△	◎	35%軽量化
騒音	△	○	5~10dB低減
伝達効率	△	○	3%向上



▲富士重工業製汎用エンジン「ER12」に採用された油中タイミングベルト



▲建設機械(ランマー)専用に開発された富士重工業製汎用エンジン「ER12」



▲「ER12」エンジンブロック内での使用例

連結業績の概況

当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高276億37百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益28億9百万円(前年同期比9.1%減)、経常利益25億44百万円(前年同期比10.4%減)、四半期純利益は15億60百万円(前年同期比15.8%減)となりました。

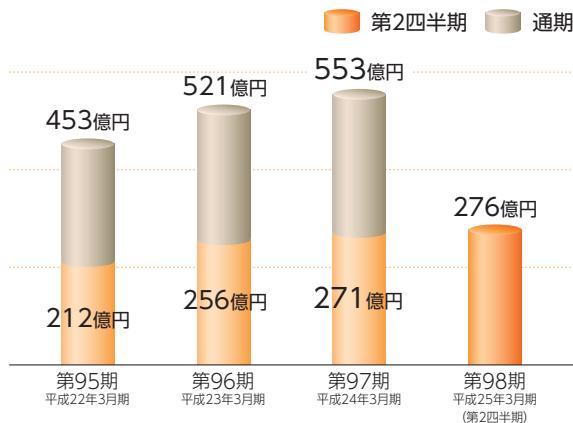
当第2四半期連結会計期間末は、流動資産が7億89百万円、有形固定資産が1億12百万円とそれぞれ増加したものの、

株価の下落等により投資その他の資産が20億56百万円減少したことから、総資産は前連結会計年度末比11億52百万円減少の679億23百万円となりました。

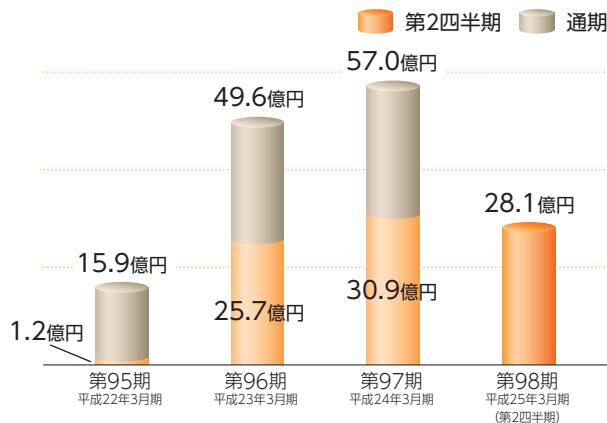
また、負債も流動負債が2億80百万円増加した反面、固定負債が8億28百万円減少した結果、前連結会計年度末比5億49百万円減少の284億96百万円となりました。

純資産は、四半期純利益等の計上により利益剰余金が9億

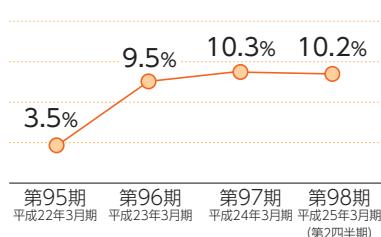
売上高



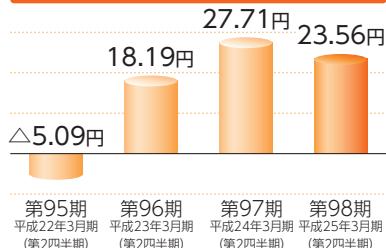
営業利益



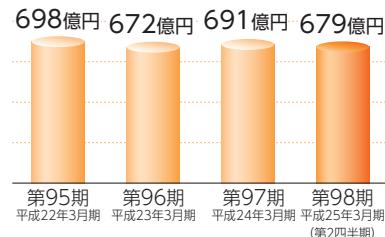
営業利益率



1株当たり四半期純利益



総資産



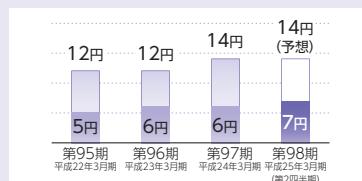
(注) 第98期第1四半期会計期間より「在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更」を行ったため、第96期～第97期については、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

11百万円増加したものの、株価の下落によるその他有価証券評価差額金の減少8億58百万円のほか、自己株式の取得も影響し、前連結会計年度末比6億3百万円減少の394億26百万円となりました。

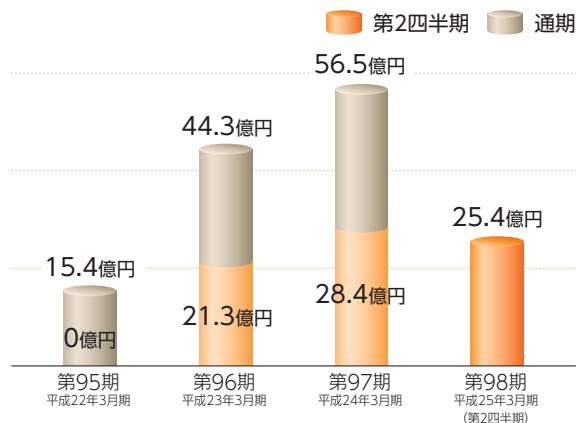
以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末と同率の58.0%となりました。

配当の状況

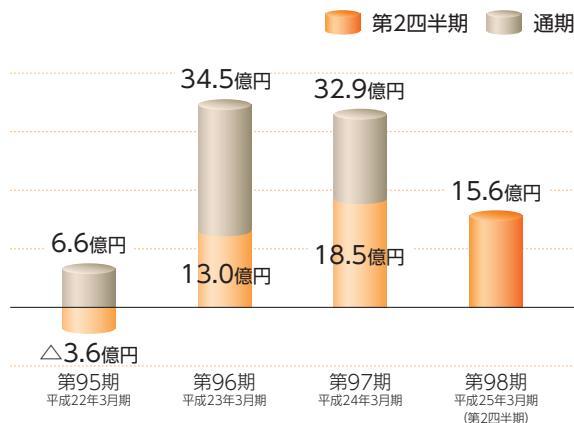
第2四半期末 **7円**
 〈 期末7円(予想)
 年間配当金 14円(予想) 〉



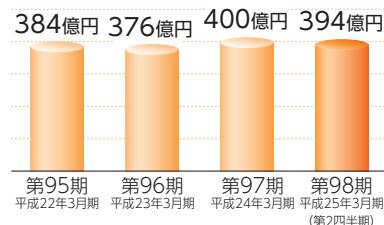
▶ 経常利益



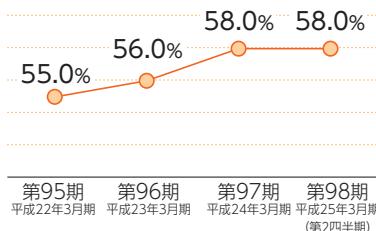
▶ 四半期(当期)純利益



▶ 純資産



▶ 自己資本比率

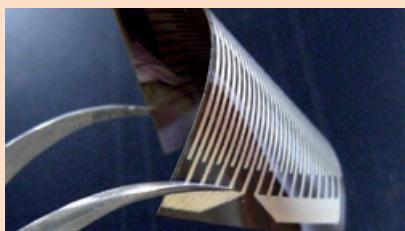


平成25年3月期連結業績予想

売上高	560億円
営業利益	56億円
経常利益	53億円
当期純利益	33億円

(注) 第98期第1四半期会計期間より「在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更」を行ったため、第96期～第97期については、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

■ 事業部門別状況

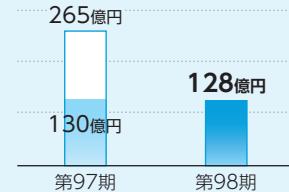
事業区分	売上高構成比	
国内ベルト事業 売上高 128億41百万円 営業利益 30億33百万円	46.5%	
海外ベルト事業 売上高 102億96百万円 営業利益 4億32百万円	37.2%	
建設資材事業 売上高 23億72百万円 営業利益 77百万円	8.6%	
その他 売上高 21億27百万円 営業利益 47百万円	7.7%	

概況

自動車用ベルトは、補修用が減少したものの、エコカー補助金などによって国内新車販売が好調に推移したことから、新車組み込みライン用の需要が拡大し、全体では売上高が増加しました。一般産業用・OA機器用ベルトは、円高によるユーザの海外生産移管が進んだことに加え、ユーザの欧州向け輸出が低調であったことから、減少しました。運搬ベルトは新製品が食品業界向けに伸張したことから増加し、合成樹脂素材は前年同期並みとなりました。

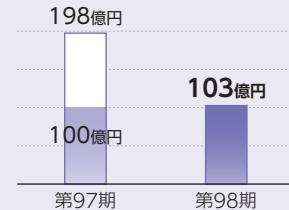
その結果、当事業の売上高は128億41百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益は30億33百万円（前年同期比9.8%減）となりました。

売上高の推移



欧州では、景気後退による消費の低迷により、売上高が減少しました。アジアでは、ユーザの在庫調整により、一般産業用ベルトが減少しましたが、自動車用・OA機器用ベルトはともに堅調に推移し、全体では微増となりました。米国では、自動車用ベルトの売上が増加するとともに、一般産業用ベルトも増加しました。

その結果、当事業の売上高は102億96百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益は4億32百万円（前年同期比49.6%減）となりました。



建築部門は昨年の震災影響による落ち込みから回復し、売上高が増加しました。土木部門は廃棄物処分場関連の物件が寄与し、増加しました。

その結果、当事業の売上高は23億72百万円（前年同期比17.3%増）、営業利益は77百万円（前年同期は営業損失11百万円）となりました。



その他には、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、ナノ粒子を応用した新製品、仕入商品等が含まれております。

その他の売上高は21億27百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益は47百万円（前年同期は営業損失11百万円）となりました。



四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

Point 1 流動資産

流動資産は、たな卸資産が7億13百万円増加したこと等により、前期末に比べて7億89百万円増加しました。

Point 2 固定資産

固定資産は、株価の下落等に伴い投資その他の資産が20億56百万円減少したため、前期末に比べて19億40百万円減少しました。

Point 3 純資産

純資産は、四半期純利益の計上等により利益剰余金が9億11百万円増加したものの、株価の下落等によるその他の包括利益累計額の減少7億56百万円のほか、自己株式の取得等により、前期末に比べて6億3百万円減少しました。以上の結果、自己資本比率は前期末と同率の58.0%となりました。

(注1) 第1四半期会計期間より「在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更」を行ったため、前第2四半期(累計)及び前期末については、当該会計方針の変更を反映した遡及適用後の数値を記載しております。

(注2) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。

科目	前期末 平成24年3月31日現在	当第2四半期末 平成24年9月30日現在
資産の部		
流動資産	40,637	41,426
現金及び預金	14,815	15,406
受取手形及び売掛金	13,411	12,880
その他	12,411	13,139
固定資産	28,437	26,497
有形固定資産	19,608	19,720
無形固定資産	68	73
投資その他の資産	8,760	6,704
資産合計	69,075	67,923
負債の部		
流動負債	18,927	19,207
固定負債	10,117	9,289
負債合計	29,045	28,496
純資産の部		
株主資本	40,533	40,686
資本金	8,150	8,150
資本剰余金	7,130	5,480
利益剰余金	29,289	30,200
自己株式	△ 4,036	△ 3,144
その他の包括利益累計額	△ 503	△ 1,259
純資産合計	40,029	39,426
負債純資産合計	69,075	67,923

四半期連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期(累計) 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで
売上高	27,075	27,637
売上原価	18,527	19,215
販売費及び一般管理費	5,457	5,613
営業利益	3,089	2,809
営業外収益	370	284
営業外費用	622	549
経常利益	2,838	2,544
特別損失	121	—
税金等調整前四半期純利益	2,716	2,544
法人税等	863	983
少数株主損益調整前四半期純利益	1,853	1,560
四半期純利益	1,853	1,560

Point 4 売上高

売上高は、前年同期に比べて、海外市場における販売活動の強化等により5億62百万円増加し、276億37百万円となりました。

Point 5 営業利益

営業利益は、前年同期に比べて、売上原価が6億88百万円増加した結果、2億80百万円の減少の28億9百万円となりました。なお、営業利益率は前期に引き続き、10%以上確保しております。

Point 6 四半期純利益

税金等調整前四半期純利益が、前年同期に比べて1億72百万円減少したことに加え、日本などの高税率国の利益が上昇したことに伴い、法人税等の額が1億20百万円増加したため、四半期純利益は15億60百万円となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

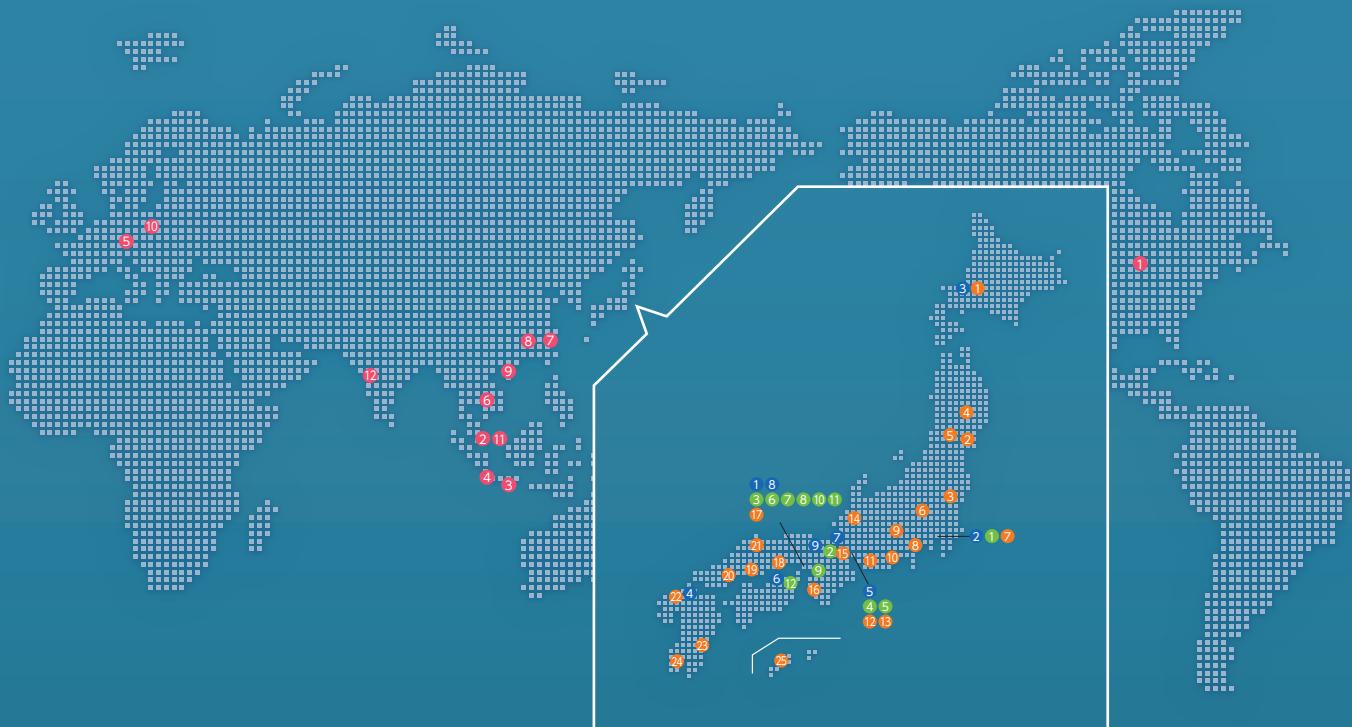
科 目	前第2四半期(累計) 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	583	2,753
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 268	△ 991
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 955	△ 1,707
現金及び現金同等物に係る換算差額	26	△ 15
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 614	40
現金及び現金同等物の期首残高	13,965	14,808
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	392
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,350	15,241

Point 7 四半期連結キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて21億70百万円増加の27億53百万円の収入となりました。主な要因は、売上債権の増加額が5億5百万円、棚卸資産の増加額が4億78百万円とそれぞれ減少したことに加え、仕入債務の増加額が13億1百万円増加したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて7億52百万円減少の17億7百万円の支出となりました。主な要因は、自己株式の取得による支出が7億58百万円増加したことによるものです。

また、当期新規連結を行ったため、現金及び現金同等物が3億92百万円増加し、現金及び現金同等物の四半期末残高は152億41百万円となりました。



国内の生産・販売拠点

三ツ星ベルト株式会社

- ① 神戸本社
- ② 東京本社
- ③ 札幌営業所
- ④ 福岡営業所
- ⑤ 名古屋工場
- ⑥ 四国工場
- ⑦ 滋賀工場
- ⑧ 神戸事業所
- ⑨ 綾部事業所

三ツ星ベルトグループ会社

- ① 三ツ星ベルト販賣(株)
- ② 三ツ星コード(株)
- ③ 三ツ星ベルト工機(株)
- ④ 三ツ星ベルトコンペヤ(株)
- ⑤ 三ツ星ベルト樹脂(株)
- ⑥ 三ツ星ベルト技研(株)
- ⑦ 三ツ星物流工産(株)
- ⑧ ミベック(株)
- ⑨ ネオ・ルーフィング(株)
- ⑩ 神戸三ツ星サービス(株)
- ⑪ エムエムコート(株)
- ⑫ エム・ビ・エル・総合サポート(株)

三ツ星ベルト販賣株式会社

- ① 札幌営業所
- ② 仙台営業所
- ③ いわき営業所
- ④ 盛岡営業所
- ⑤ 山形営業所
- ⑥ 北関東営業所
- ⑦ 東京営業所
- ⑧ 神奈川営業所
- ⑨ 山梨営業所
- ⑩ 静岡営業所
- ⑪ 浜松営業所
- ⑫ 名古屋営業所
- ⑬ 小牧営業所
- ⑭ 金沢営業所
- ⑮ 長浜営業所
- ⑯ 和歌山営業所
- ⑰ 神戸営業所
- ⑱ 岡山営業所
- ⑲ 福山営業所
- ⑳ 広島営業所
- ㉑ 松江営業所
- ㉒ 福岡営業所
- ㉓ 宮崎営業所
- ㉔ 鹿児島営業所
- ㉕ 沖縄営業所

海外の生産・販売拠点

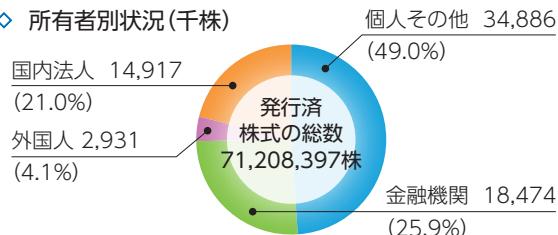
- ① MBL(USA) CORPORATION
- ② MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITED
- ③ P.T. SEIWA INDONESIA
- ④ P.T. Mitsuboshi Belting Indonesia
- ⑤ MBL Antriebstechnik Deutschland GmbH
- ⑥ Stars Technologies Industrial Limited
- ⑦ 上海共星機帶國際貿易有限公司
- ⑧ 蘇州三之星機帶科技有限公司
- ⑨ MOI TECH HONG KONG LIMITED
- ⑩ MITSUBOSHI POLAND Sp. z o.o.
- ⑪ MOI TECH PRIVATE LIMITED
- ⑫ MITSUBOSHI BELTING-INDIA PRIVATE LIMITED

株式の概況 (平成24年9月30日現在)

1.株式

- ◇ 発行可能株式総数 325,213,000株
- ◇ 発行済株式の総数 71,208,397株
- ◇ 株主数 7,893名

◇ 所有者別状況(千株)



2.大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	4,816,000	6.76
トヨタ自動車株式会社	2,355,125	3.31
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,340,550	3.29
星友持株会	2,198,870	3.09
小田田 欽造	2,070,000	2.91
西松建設株式会社	2,000,000	2.81
日本生命保険相互会社	1,857,875	2.61
三ツ星ベルト社員持株会	1,756,130	2.47
三井物産株式会社	1,500,000	2.11
東京海上日動火災保険株式会社	1,376,804	1.93

(注) 上記のほか当社所有の自己株式6,011,727株があります。

会社の概要 (平成24年9月30日現在)

- ◇ 商号 三ツ星ベルト株式会社
Mitsuboshi Belting Ltd.
- ◇ 創業 大正8年10月10日
- ◇ 設立 昭和7年10月10日
- ◇ 資本金 81億5,025万1,031円
- ◇ 従業員数 718名
- ◇ 営業品目
 - ベルト V型ベルト、歯付ベルト、伝動機器・装置、運搬ベルト及び装置、ポリウレタン製工業用品、合成樹脂素材、その他ベルト
 - 建設資材 建築用防水シート、土木用遮水シート
 - その他 エンジニアリングストラクチャル フォーム、その他

- ◇ 事業場
 - 神戸本社 神戸市長田区浜添通4丁目1番21号 ☎(078)671-5071代表
 - 東京本社 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 ☎(03)5202-2500代表
 - 札幌営業所 札幌市豊平区豊平二条3丁目1番17号 ☎(011)841-9135代表
 - 福岡営業所 福岡市博多区板付1丁目3番1号 ☎(092)441-4451代表
 - 名古屋工場 愛知県小牧市大字西之島1818番地 ☎(0568)72-4121代表
 - 四国工場 香川県さぬき市津田町津田2893番地 ☎(0879)42-3181代表
 - 滋賀工場 滋賀県高島市マキノ町寺久保100番地2 ☎(0740)27-0133代表
 - 神戸事業所 神戸市長田区浜添通4丁目1番21号 ☎(078)671-5071代表
 - 綾部事業所 京都府綾部市城山町7番1 ☎(0773)43-3051代表

役員 (平成24年10月1日現在)

代表取締役会長	西河紀男	常務執行役員	黒野正治
取締役副会長	喜田宏	常務執行役員	對川芳憲
代表取締役社長兼社長執行役員	垣内一	常務執行役員	安井光和
取締役兼副社長執行役員	野澤信太	常務執行役員	片山孝
取締役兼常務執行役員	山口良雄	執行役員	熊野格夫
取締役兼常務執行役員	中嶋正仁	執行役員	竹中昌弘
取締役兼常務執行役員	小田芳裕	執行役員	羽村健
		執行役員	坂聖二
		執行役員	佐々木孝
		執行役員	増田健吉
監査役(常勤)	井ノ口正弘	執行役員	西河俊伸
監査役	奥島吉雄	執行役員	池田浩
監査役	宇佐美貴史	執行役員	陳振耀
監査役	若林邦昌	執行役員	伊藤辰雄
		執行役員	森野峰雄

(注) 監査役宇佐美貴史及び若林邦昌の両氏は、社外監査役であります。

会計監査人 新日本有限責任監査法人

株主メモ

- ◇ 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- ◇ 定時株主総会 6月
- ◇ 単元株式数 1,000株
- ◇ 剰余金の配当の基準日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
- ◇ 上場金融商品取引所 東京・大阪
- ◇ 株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話(通話料無料)0120-094-777
- ◇ 公 告 方 法 電子公告により行う。
公告掲載ホームページは、http://www.mitsuboshi.co.jp/japan/denshi_koukoku/index.htmlに掲載しております。
なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



当社ホームページでも、最新のIR情報をご案内しております。

www.mitsuboshi.co.jp

UD FONT



この冊子の印刷には、環境に配慮した
植物油インキを使用しています。